

## 情報公開文書

**課題名** : B 細胞リンパ増殖異常症/リンパ腫における組織型、表現型、遺伝子型、免疫微小環境解析の相関に関する臨床病理学的研究

**研究期間**: 倫理委員会承認日～2024 年 5 月 31 日

### 1. 研究の対象

当院で1995年1月から2019年5月までに病理組織診断にて免疫不全関連リンパ増殖異常症、EBV 関連リンパ増殖異常症(EBVLPD)、成熟 B 細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫と診断された10歳以上の方。

### 2. 研究目的・方法

加齢性 EB ウイルス(EBV)関連 B 細胞リンパ増殖異常症(AR-EBVLPD)は、比較的高齢の患者さんにおいて発症するといわれている完治の見込みが薄いリンパ増殖性疾患です。免疫老化・加齢に伴う免疫不全が病因として推定されていますが、発症メカニズムは不明です。本研究では AR-EBVLPD について、臨床病理学的な特徴が、免疫不全関連リンパ増殖異常症(IEBVLPD)や EBV 陰性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫を含めた B 細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫とどのように異なるかを中心に解析を行います。またそれぞれの病型で EBV のウイルスゲノムの異常に違いがないかも確認します。これらの解析により特に AR-EBVLPD や I-EBVLPD の発症に関連する分子病態の解明を目指します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

検体: 病理診断を行った標本(手術の際に摘出された検体より)、未染標本

情報: 年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見・生存期間・標本の肉眼所見・病理所見・免疫染色の結果など

### 4. 外部への試料・情報の提供

生体試料や情報・データは、郵送または宅配便にて研究代表施設である愛知県がんセンターへ適切に送付されます。送付される前に氏名・住所・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけ、誰のものかわからないようにした上で取り扱われます。

### 5. 研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関:

愛知県がんセンター遺伝子診療部・医長 加藤省一

名古屋大学大学院医学系研究科・臓器病態診断学・教授・中村栄男

名古屋大学大学院医学系研究科・腫瘍病理学・准教授・榎本篤

名古屋大学医学部附属病院・病理部・講師・高野桂

名古屋大学医学部附属病院・病理部・病院助教・鈴木優香

愛知医科大学病院・病理診断科・教授・都築豊徳

愛知医科大学病院・病理診断科・准教授・高橋恵美子

愛知医科大学病院・病理診断科・助教・佐藤啓

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・腫瘍病理/第二病理・教授・吉野正

金沢医科大学・血液免疫制御学・教授・正木康史

金沢医科大学・臨床病理学・准教授・黒瀬望  
久留米大学医学部・病理学講座・教授・大島孝一

既存試料・情報の提供を行う機関として、当院を含め全国約 40 機関から協力を得ており、今後も追加される可能性があります。

## 6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である愛知がんセンターが責任をもって適切に管理いたします。

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)：

浜松医療センター 病理診断科 森 弘樹  
〒432-8580 静岡県浜松市中区富塚町 328  
Tel: 053-453-7111

研究代表者: 愛知県がんセンター 遺伝子診療部 医長 加藤省一